

18/3/28 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第9回）  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:01

渡辺主幹：よろしく

西野所長：こんにちは。

第9回出席ありがとう。3月で終わり

今年度9回会議をした

外は桜 満開

明日金シャチ横町

にぎわいづくり

議題 基本計画策定 今後のスケジュール

保存活用計画 本年度策定として進める

昇降等検討 報告事項

渡辺主幹：出席者紹介

報告に入るの、写真・ビデオはこれまで

報告 石垣部会

名古屋城総合事務所 深谷：石垣部会説明

所見

根石の安定性 調査区内 変状は認められない

1/30 石垣部会 調査区成果に基づく比較

2 南北方向

3 東西方向

盛り土 太くグレーで

3/2 石垣部会 内堀外側N区

築城時盛り土 低い 危険性があるのではないか

4 K区 石垣部会に現地で確認頂けなかった

5

部会后、各調査区ご指導頂いた

部分的に掘削を広げるように

調査区埋め戻し

渡辺主幹：意見があれば

片岡：石垣とケーソン周辺 境界部分は調査したのか

名古屋城：外側まわりだけ

穴蔵は今後やる予定だが、まだしていない

中側については今後

西形：埋め戻しはどの程度

名古屋城：いまほぼ埋め戻し完了 若干残っている

西形：重要な場所なので埋め戻しも配慮を

瀬口：掘削範囲を広げる どの辺をどういう風に広げるのか

工程に影響はないのか

3月終わりで進めているのはないか

名古屋城：石垣部会 C区 北東隅 広げて地山の状況を調査

記録作業行った 埋め戻しをした

瀬口：追加は終了しているという理解か

外側 指摘があった

天守台は問題がないという認識か

名古屋城：調査期間内対応は対応した

それ以外 ご指摘・ご指導頂いた部分 必要性 整理して検討する

今回の調査は終了した

瀬口：調査は続く可能性があるのか

名古屋城：今回の調査を検討するのが最優先

その後考える

麓：発掘調査 2-5 I-Nまでという説明

西・北面 A-Hまで 資料がないのは整理ができていないのか

名古屋城：石垣部会資料を出した  
現地を見て頂く 資料がその時点でなかった  
そのほかはまとめて報告したい

麓：C区を広げる指導を頂いた  
一応見て頂いたのか

名古屋城：現地指導をいただいた

麓：その分は資料がないということか

名古屋城：現在まとめ中

14：21

渡辺主幹：ありがとうございます。  
昇降等

蜂谷主幹：昇降等

天守木造復元 前提条件 「復元」建築基準法第3条第1項第4号適用

- ・特別特定建築物に該当しない
- ・努力義務は適用される

現在天守閣 5階まではエレベーター 展望はできない

7階は階段のみ 対応できていない

エレベーター設置可否 市民意見

- ・設置するべきでない
- ・設置するべきである

障害者団体等皆さまから意見を頂いた

目的4つ

- ・場内移動円滑化
- ・体感 VR等 分身ロボット活用
- ・サポート ハートフルデイ アシスト器具
- ・新たな技術 車いすロボット

☆技術提案内部エレベーター

3階 大梁を切り欠く 一部史実との乖離が生じる

4階

避難階段の可能性

一般的車いす・電動車いすは困難

最上階には行けない

防火区画等検討必要

☆11人乗りエレベーター

史実と大幅に乖離する可能性

電動車いす避難 多人数のサポートが必要

☆外部エレベーター

外壁に開口部

景観上好ましくない影響を与える

到達階が1階に限定される

現在名古屋市検討 中間報告

渡辺主幹：説明した

川地：感想と質問

3案中間報告検討

個人的見解 木造復元 史実に忠実 真実性

2.3はどうかと思う

1の4人乗りエレベーター 可能性がある

かごの大きさ 80×100 車いすは乗らない

史実に忠実を守るとして、エレベーターをつけるのなら車いすが乗らないと意味がない

平常時はよいが、災害時 地震・火事 火が出ない 煙

震度4以上 最寄りの床にとまって避難

エレベーターは使えない

火災時 すぐさま避難階までおりて、扉を開けて避難

避難施設としては使えない

仮に3階までいかれた 地震が来た、煙が出た

エレベーターが使えない

いかに地下1階まで避難できるか検討しないとまずい

避難計画 安全計画 ユニバーサルデザイン発想の元

いかなる時でも安全にいろんな方が安全に避難できる

検討しないと行けない

一つとしてエレベーターがある

中間報告 検討して頂いて通常は車いすが乗る形で影響がないようにご検討頂ければ

渡辺主幹：他ご意見は？

よろしかったでしょうか

古阪：今日名古屋城のぼった

エレベーター混んでいた 一番お客さんが来る  
多様な選択肢  
現状をよくみて、もう少し幅広く考えて欲しい

渡辺主幹：ありがとうございます。

14：39

渡辺主幹：3点

資料3

竹中工務店：8項目

麓 樋のない図面がよい  
麓 宝暦大修理 違いを明らかにして新たな見解を出して欲しい  
三浦 間詰石明記  
西形 第一砂質度 液状化検討対象か  
西形 軽量盛土  
古阪 黒チャン塗 やめようという話でまとまったのではないか 検討継続  
川地 中世鎌を使っていた可能性は？ 今回は近世鎌  
三浦 建立年代

瀬口：いくつか検討

川地：前回確認した

姫路城天守 完成時期 1608年 慶長13年と書いてあった  
慶長14年 1609年ではないか  
慶長13年夏に石垣 慶長14年末に竣工した  
階ごとに大工グループを決めた  
姫路城 城郭研究室 慶長14年 念のために確認を

三浦：1行目 元和の初め

瀬口：だいぶん時期が外れている

残りました課題

石垣境界、黒チャン、液状化 今後検討

名古屋市：基本計画策定について

天守閣部会検討経過

基本計画一覧表 ○ 完了した

空欄 今後

2 構造計画、防災、仮設計画、石垣調査関係

スケジュール 復元検討委員会 7月想定 それに合わせて4月5月まとめて

6月天守閣部会に諮って、7月まとめる 文化庁と相談する

瀬口：質問と意見

片岡：4回5回 構造計画 内容は

名古屋城：地震波を用いた構造計画検討状況

1.25 大天守構造強度を持つのか

小野：天守台地質調査 ちゃんと進まないと言えないと主架構にいかない

文化庁の考え方は

渡辺主幹：地震波 ボーリング調査 想定範囲内

今後の調査 現状調査をやっている

まだ見通しは立っていない

瀬口：見通しが立っていないということは、工程は見通しがたたないということか

小野：見通しが立っていない

全体の計画は検討を変更を検討しているということか

渡辺主幹：そういったことです

古阪：全体のスケジュールは

予定通りなのか、いつていないのか

断片的にわかる 一度示して頂きたい 以前お願いした

説明できないのであれば、4月どういうタイミングになっているか

一番重要なこと

渡辺主幹：全体的な流れ

計画、設計・工事 全体像

また 計画として着工

全体 みすえていかないといけない

瀬口：今日出して欲しい お願いした

出してくれないか 調整ができていないということですね。

文化庁、石垣 出して頂くことになりますか？

渡辺主幹：調整できるところを調整して、情報提供に努力

古阪：マスコミ・市民 傍聴

どうということが難しい問題か

報道・市民 協力できることは難しいかもしれないが、

こう工夫している 見せる

結果として思い入れとなる

渡辺主幹：事務局として努力していきたい

三浦：ケーソンの下 ボーリング

東海地震がいつくるかわからない

ケーソン下 絶対的に必要

文化庁に要望して欲しい

この委員会として要望

渡辺主幹：

瀬口：現天守危険

ケーソン下 ボーリングをすべきだ

委員会としてよいですか

古阪：小野先生話した

東京 直下型 30年前 70%→80%

あきらかにタイミング

東南海南海

危機感をもたないといけない  
小野先生として言ってもらいたい

小野：上部を考えるには必須  
市としては強く要望 理解している  
さらに強く要望して欲しい

瀬口：安全性を検討していない  
石垣 天守閣を含めて危険な状態にある  
文化庁に要請して欲しい

片岡：東南海 危惧される  
シミュレーション 模擬地震波 竹中さんお持ちだと思う  
一度解析していただきたい

渡辺主幹：竹中と相談したい  
我々として何ができるか認識していない 協議したい

瀬口：基本計画 ○がついていないところ 7月（未定）  
ずれる？  
未定ということはどういう意味か

渡辺主幹：日程が決まっていない

瀬口：まとめなくてよいということか

渡辺主幹：日程が決まっていない

瀬口：文化庁 7月なのでそれまでに間に合わせたいということ。  
事前にうちあわせが必要  
保存活用計画（案）について

15：04

名古屋城 こうろ：保存活用計画 意見聴取をしながらすすめる  
3/30 説明する



復元時代 全体 江戸時代後期を基本とする  
近代以降 個別に判断  
204 ページ以降 大きな変更はない

瀬口：ご意見・ご質問は

川地：どうでもいいことかもしれない

修正箇所ではないが、213 ページ下 「伝統工法による復元の利点」  
コンクリート造 鉄骨造  
解体修理するメリットがある  
何百年も持つ  
「木造復元」わかりやすい

瀬口：204 ページ

「市民の機運の高まりにより再建」本当か？根拠を見つけていない  
行政の田口さん 名商の青木さん 運動をすすめた  
本当ですか？  
行政が後押しされたのか？

名古屋城：行政側も検討会議 復元会立ち上がる前から市民の運動が確認された  
寄付金、そういったものかんがみて整理した  
田口さんの影響も大きいが。

瀬口：募金第1号 新聞に載っている

10 万円 名古屋商工会議所の息子  
純粋な市民 断定しすぎではないか

- ・基本計画書
- ・基本計画

違うのか

昭和 20 年 9 月 木戸 木造はだめ 鉄筋にしろ 科学館にしろ  
「木戸久さんが国宝入れる提案をした」 後段は確認していない  
木材が全然ないとき 住宅が作れない セメントで住宅作れ  
そういうセンス

天守閣を考えた場合 木造はあり得ない 雑木を使ってもあり得ない  
言い過ぎ  
ストーリーを作りすぎ

小野：天守台 地質調査

現天守 課題

整備の方針

206 ページ 一番上 「潜在的な弱点」

天守台の地質調査が最優先される 入れてはどうか

片岡：天守台と石垣 カップリング

プロポーザルの段階から気になっている

191 ページ真ん中 「危険度評価等を取りまとめた石垣カルテ」

独自か、相互か 読み切れない

検討していると思うが、カップリングの問題

瀬口：危険度とはどういうことか

名古屋城：石垣カルテにおける危険度調査

現況を観察した上ではらみだし カルテでは評価している

西形：安定性

安全性

工学的ではなく、万が一のこと 園路をどう変えるのか

見きれていない

記述は必要ではないか

単に石垣の変形どうこうだけでなく

名古屋城：石垣の保全方針は別途定める

できるだけのことを盛り込んでいきたい

瀬口：「石垣の安定性」「安全性」混在

工学的安全性 安定性は概念が違う

わかりにくい

用語解説を入れた方がよい

その先に、今度は間詰石が落ちてくる

天井が落ちてくるような

ここは工学系の人が多いので話が合う

名古屋城：今後検討

三浦：135 ページ上の図 もう少し精緻に

正門桁形 改変されている

本丸西南隅櫓

大正時代の石垣

もう少し精度を上げてはどうか

瀬口：7月 図を拡大して精度をあげれば有益

名古屋城：整理したい

瀬口：よろしいでしょうか

全体の進捗状況をしめして いかに苦勞して進めているかわかると

違うのではないか

ぜひそういうふうにしてほしい

渡辺主幹：名古屋城整備を進めていきたい

15：28